

【様式】 令和2年度 武生東高等学校 学校関係者評価書

(問)

- ① スクールプランの重点目標についての成果と分析内容は適切ですか。
- ② 成果と課題を踏まえた令和3年度に向けた改善策・向上策は適切ですか。

(意見欄)

◇教育課程・学習指導について

- ・コロナ禍で様々な障害や制約がある中で、授業改善に取り組んでいただきましたことに感謝いたします。今年は子供が3年生で昨年に比べ余裕がなかったためか、家庭で授業のことを話すことが2年生と比べると減った印象はありました。ただ、昨年 教科連携の取り組みにまつわる授業をたいへんうれしそうに話していたことから、生徒への浸透は感じられます。
- ・授業の媒体に様々なものが存在する中で、いろいろ試行錯誤しながら活用されていたのだと思いますが、生徒にとってみても大変だったと推察します。今後、タブレット端末の全員配布となったことで平等な環境は整ったと思いますので、それを活かすべく、教員の方々のスキル向上に向けた取り組みをお願いします。(特に私と同じ50代の方々の更なる向上を)
- ・分析結果の根拠は、何番のアンケート結果に基づいているのかを分かりやすく明示すると説明がしやすい。
- ・タブレット端末配布に伴い、管理面における障害も発生すると思いますので、PTAとしても総合保障制度のPRでカバーできるよう努めたいと考えます。
- ・コロナ禍による授業の遅れをいかに最小限に食い止めるかが中心となる学習指導となっていたと予想されるため、評価には難しいものがある。しかし、子どもや他の保護者との話しを聞いても本校の取組は評価できるものがある。
- ・タブレット全員導入を背景として、課題の提示・回収、評価等に加えて、より分かりやすい授業づくりのための「タブレット活用法の研究」を推進するという視点が必要である。

◇進路指導について

- ・入試制度改革の中での進路指導ということで、ご苦労があったことと思います。学校側が求める生徒への進路ストーリーと生徒の意識(志望校の決定)には、まだ差があると感じました。3年の秋以降の三者面談時には、それぞれがかなり余裕がなくなっている感もあり、早めの段階で一度実施してもよいのかと思います。
- ・2年次段階である程度の方向性が決まっている生徒は良いが、そうでない生徒に対しては保護者の方からも早めの意識付けをすることが重要であると考えます。
- ・適切だと思います。「各学年において進路ストーリーを明確に示した上で、進路指導を実践していることの評価は着実に出ています。」とするアンケート結果を明示すると説得力が増すはずである。

◇生徒指導について

- ・2年生は学年独自のSNS調査や安全な学校生活へのアンケート実施とありますが、こういった取り組みを学年の隔たりなく行うために、PTAとしてできることがあるのではと感じますので、遠慮なくPTAにご提案いただければと思います。
- ・長年の課題であった清掃活動がPTAとして実施できたことは大きかったと認識しています。今後、生徒の美化意識や環境意識向上のために、生徒とも一緒になって清掃活動を行ってみたいかどうかということを昨年に引き続き提案いたします。
- ・生徒が中心となって活動するイベントが少なかったため、リーダー性育成の視点では不足している感がある。コロナ禍であっても”中止”ではなく、どのように実施していくかを生徒とともに検討していく時間を多く持つべきではなかったか。

◇積極的情報発信について

- ・普通科、国際科問わずに活動できることとして、昨今のSDGsにまつわる取組みがあります。4月に発表を控える、越前市男女共同参画センターのイベントなどを利用して情報発信の足掛かりとしてはどうかと思います。
- ・「東高校はどういう学校か」「国際科の目標は何か」といった外部発信をもっと積極的にすべきであり、PTAとしても反省する。
- ・新型コロナウイルスによる影響下でも、Hino・Quest発表会は実施され、情報発信をされているという認識がある。

◇学力向上について

- ・昨年度スタートしたHino Questは徐々に定着して、東高校の大きな発信ツールだと思います。ただ、昨今の総合型教育の一環として、中高問わずどこもやり出して、またマスコミもこぞって情報発信しており、めずらしいことではなくなってきました。今後、その中身や生徒がどれだけ地域に入り込んでいけるかが焦点で、いかに地域の方々に可愛がってもらえる東校生になるかが重要だと思います。
- ・Hino・Questの取組はALとしても大変素晴らしく、今後とも是非継続実施して行ってほしい。
- ・自助共助の意識付けは、子どもの話を聞く分には徐々にできつつあるように感じるが、継続してこそ意味があるので今後のさらなる活動を期待したい。

(学校関係者評価を踏まえた今後について)

- ・「入学してよかった」というアンケートに対し、生徒と保護者の答えに多少の開きがあります。特に1年生の答えが思ったより低い印象です。学校内の環境も含め、生徒の満足度向上につながるよう学校としても努めていただきたいですし、PTAとしても協力していきたいと考えます。
- ・コロナ対応の特殊な1年である中、良く対応していただけたと感謝している。ただ、国際科を抱える東高校として、様々な行事を”中止”で済ませるのではなく、チャレンジをさせ未知の体験をもっとさせてほしかったとの想いも強い。『国際科は”英語科”ではない』はずであり、未知の課題や異文化に対する積極的取組を学ぶ姿勢をもっと持ってほしい。
- ・それぞれの重点目標を評価するためのアンケートが何番なのかを明示しておく、それぞれのアンケート結果は、どの重点目標を評価するためのものなのかが分かりやすくなると思います。
- ・結果を表だけでなくグラフ化することによって、傾向や昨年度との比較を視覚的に把握しやすくなる。